

感動の 皮膚保護クリーム

1

プロテクト X1 (エクスワン)

特許出願済
2009-156759

ハンドクリームや洗剤では解消できない
手荒れや汚れを3重バリアの
皮膚保護クリームが解消します。



個人用の
スタンダード品
携帯 80mL



業務用の
スタンダード品
大型 400mL



個人用の
お徳用品
中型 200mL



業務用の
超お徳用品
特大 600mL

手荒れ防止作用のイメージ図

プロテクトX1の3大特長

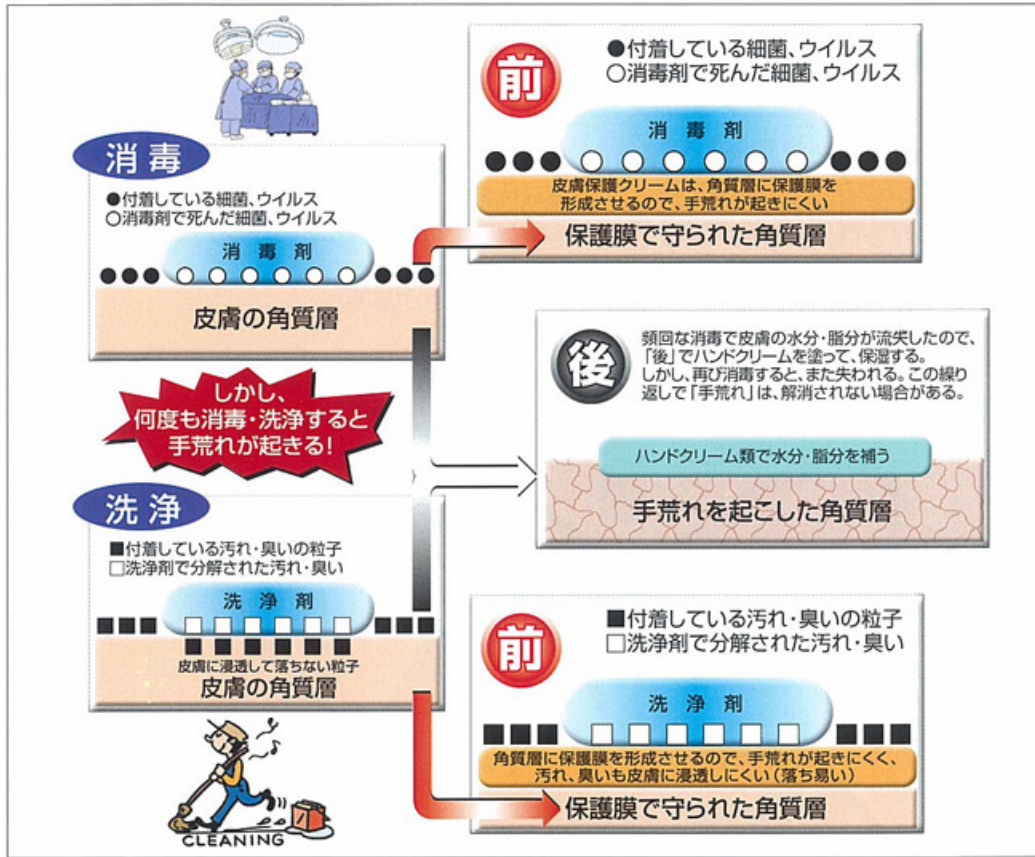
プロテクトX・ファイル

先に塗って手荒れに必勝

【先手必勝】先んじて、事を行えば必ず勝てること。

- わたしたちの皮膚は、日常、水・湯、そして多くの洗剤、消毒液等に触れることで、気づかぬうちにダメージを受けています。一般的なスキンケアとしては、仕事の後にハンドクリーム類を塗る方法が採り入れられていますが、継続的にそれらに触れる仕事では、手洗いの度にクリームが洗い流されてしまい、**手荒れ防止作用は“今ひとつ”**とされています。
- 手荒れに悩む多くの看護師、美容師の皆さんの間では、「消毒液やパーマ液に触れる前の予防措置が、結局、効果的で経済的でもあり、**皮膚保護クリーム**（または**バリアクリーム**とも呼ばれます）が、その具体的な商品であること」は以前から知られていました。ただ、プロの現場ではそれらの普及度はまだまだ低く、商品寿命の短いものが数多くあったことも事実です。
- それだけに、より顧客ニーズを満たした皮膚保護クリームへの期待が寄せられていました。**プロテクトX1**は、手荒れに悩む“プロの現場ユーザーの声”に耳を傾けつつ、“プロが求める商品とは何か？”の命題に対して、ナノテクノロジーを活用して、開発された商品です。
- あらかじめ外的要因を防御する保護膜を皮膚にしておくことが、手のトラブル防止に対する最も効果的な方法であり、まさに**先手必勝のスキンケア**作戦です。**プロテクトX1**を、**皮膚保護クリームの理想に近づけた保護用品**として、心からお薦めいたします。

皮膚保護クリームの手荒れ防止作用のイメージ図



こんな分野で使われています。そして、新たな分野にも広がっています!



(用途の詳細は裏面を参照下さい)

プロテクトX1の3大特長

① 抜群の保護作用

- バリア成分として、従来のアミノ変性シリコンやPVPに、撥水性の強いフッ素コート成分を加えて3種類に増やしました。<特許出願中>
- 第1の保護膜…アミノ変性シリコンが手に吸着して、シリコンコーティング
- 第2の保護膜…シリコンコートの上に、撥水性の良いフッ素化合物を吸着させてフッ素コーティング
- 第3の保護膜…ダブルの保護膜の上に、さらにビニールの手袋をはめるようなイメージのポリビニルピロリドン(PVP)コーティング

② 究極の使用感

- “保護膜作用を高めると、使用感は低下する”。このバランスを取ることに難しさを見事解決しました。
- 実際に手に塗って下さい。アーモンドの半分位の量でも、のびが良いので十分手全体に回ります。ニオイは全くありません。ベタつきも少なく、作業性を妨げない適度のしっとり感が醸し出されています。
- さらに、天然保湿成分(NMF)の一つであるPCA誘導体を配合して、保湿性を高めました。

③ 納得の経済性

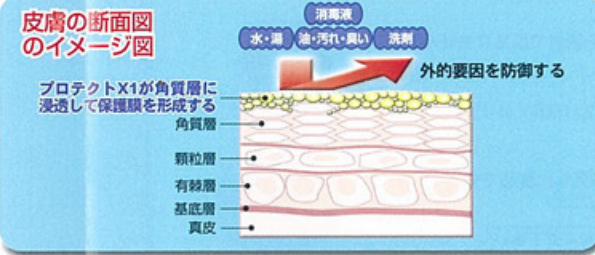
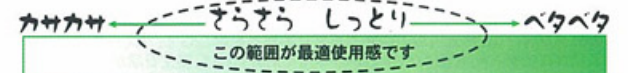
- 国産品で、かつ実用容器を採用することにより、コストを下げることに成功しました。その結果、600mL品で1回0.6mLを使用すれば、1回分7.3円という低コストとなります。例えば、月20日勤務の5人の職場で共同使用すれば、約5ヶ月間も持つことになりますので、ハンドクリームを何度も使用するよりは、コスト・手間・効果の面で優位性があります。

安全性・機能性試験のエビデンスを備えました

- <安全性試験>
- 24時間クローズドパッチテストによるヒト皮膚1次刺激性試験 (フェース・サーベイ美容皮膚医学センター)
 - 雌マウスを用いた急性経口毒性試験 (財団法人 日本食品分析センター)
- <機能性試験>
- 微生物5種類の保護膜不透透試験 (社団法人 京都微生物研究所)

使用感では抜群の高評価

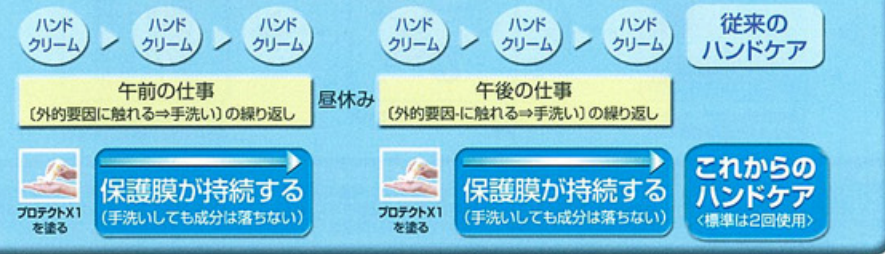
- 1,110人のモニター結果において、使用感では
- ・ベタつきが気にならない…86%
 - ・ニオイが気にならない…89%
- を示しました。さらに600人の展示会モニターでは、いずれも90%以上を示し、使用感の良さが高い評価を受けています。



プロテクトX1の保護作用

- 本来、皮膚は脂質によるバリア能力を持っていますが、その力を越える外的要因に度々触れた場合、脂質は失われて、手荒れが起きます。
- プロテクトX1を塗ると、3種類の超微粒子(1,000万分の6ミリの)保護膜成分が角質層に浸透して、強固なバリアを形成し、多くの外的要因から皮膚を守ります。
- 塗ってから3~4時間(但し、個人差はあります)途中の手洗いにも保護膜は流れることはありません。
- もちろん、体内からの汗、二酸化炭素等の排出を妨げることもありません。
- 臭い・汚れの分子が付着しても、保護膜の上に乗っているだけで、皮膚に浸透することなく、通常の手洗いで簡単に落ちてしまいます。
- 外的要因の例: 洗剤、消毒液、インク、オイル、有機溶剤…

手荒れ業務(看護、美容等)とハンドケアの対比図



プロテクトX ファイル No.1

理想の皮膚保護クリームを目指して…

- 1980年代後半、日本に現れた日本の皮膚保護クリームは多くは、エアゾール型の輸入品、または軟膏型の国産品でしたが、共通する弱点は ①臭う ②ベタつき ③高コストであり、事業所での普及には程遠いもので、幾多の類似品が生まれては消え”を繰り返していました。
- プロテクトXシリーズは、過去に発売された皮膚保護クリームの全製品を比較検討、そして米国市場調査の結果、それらの弱点を克服しつつ、より一層手荒れ防止効果を高めた製品として生まれました。
- 抗炎症成分と3種類の保護膜成分を配合したプロテクトXシリーズは、製法特許出願も済ませており、**理想の皮膚保護クリームに一歩近づいた製品**と言えます。

プロテクトX ファイル No.2

医療従事者1,110人のモニター結果では?

- 最も手荒れが起きやすい職業は、一日に数十回も手洗い・消毒を必要とする医療分野であり、手荒れは感染のリスクを高めることから、医療従事者は手荒れ防止対策に真剣に取り組んでおられます。
- Xシリーズは、これまでに医療従事者1,110人(未集計分を含めると1,500人以上)の方々から、モニターを依頼したところ、「手荒れ防止効果有り」が73%の良好な結果を示しています。(※『モニター集計集 随時版Ver.2』を参照下さい)
- このモニターの実施にあたっては、大変骨の折れる作業を踏まえています。開始当初はモニター回答用紙を病院に取りに行ったことも度々でしたが、今では多くの病院が郵送、または臨床検査会社エスアールエル社を通して返送していただき、モニターにはとても協力的です。
- 当面は2,000人が目標ですが、最終的には、10,000人の医療現場の方々の声を集約して、**スキンケアの観点から働きやすい職場作り**に貢献したいと考えています。

プロテクトX ファイル No.3

広がる用途、意外な用途…

- 日本映画「おくりびと」がアカデミー外国映画賞を受賞して以来、納棺師という職業が注目を浴びていますが、このXシリーズも納棺師のお仕事に役に立っています。
- 遺体を清める仕事は「原則手袋使用」ですが、状況に応じて「素手」の場合もあるようです。納棺師の皆さんは、Xシリーズを手袋の下に、または素手や顔に塗ることで、万全の感染防止体制をとっておられます。また、仕事が終わってからの臭いを落とし易くすることに活用されています。
- 一方、自衛隊でもXシリーズは活躍しています。船や飛行機の整備において、油・有機溶剤などの汚れ・臭いを落とし易くする効果があり、水が貴重な潜水艦の隊員さんには特に好評です。
- 面白い用途としては、**スポーツ**です。特にマラソン、トライアスロン、ロッククライミングでは、皮膚が擦りむけることが避けられないので、スポーツの前に塗って摩擦による皮膚の擦りむけ防止に役立っています。

